

週間漁海況情報 2023年第36号

令和5年9月5日発行

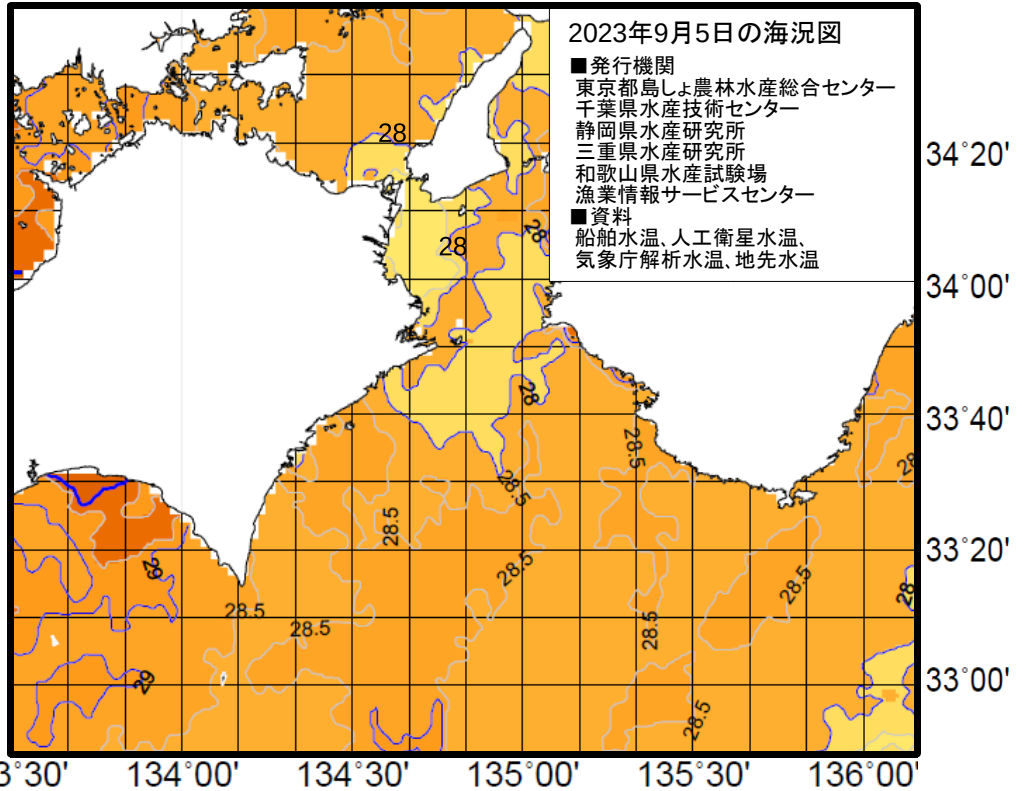
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖56マイル付近、潮岬沖95マイル付近を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。今後、黒潮は足摺岬沖では近づき、室戸岬、潮岬沖では離れると予測されている。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸とも27～28℃台となっている。8月下旬～9月上旬は1年でもっとも海水温の高い時期であり、周辺海域の水温差は小さい。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

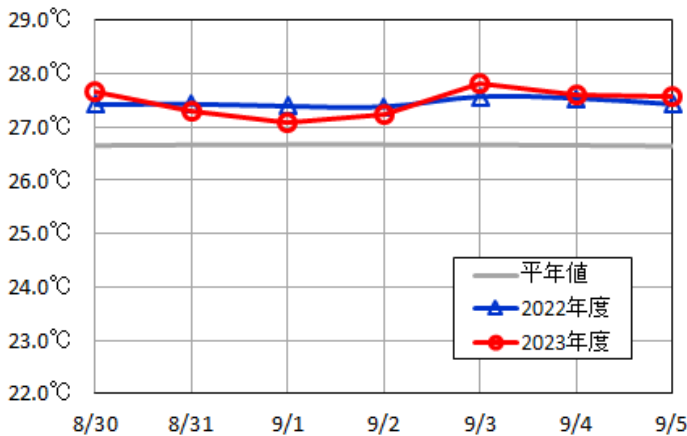
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

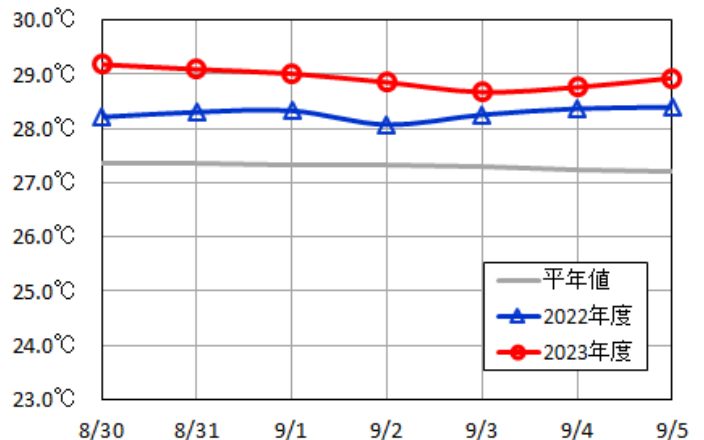
2. 地先水温(8月30日～9月5日)

鳴門地区の水温は、27.0～27.8℃で「やや高め」、浅川地区は、28.6～29.1℃で「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.8～1.9℃で、先週と比べて若干広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(鳴門)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月6日～9月12日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

漁況 (8月28日～9月3日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが66.8ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に3.6ト、サワラが大きく増えて0.3ト、あまだい類が0.2ト、えそ類が増えて0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に2.1ト、マルアジが大きく増えて小主体に0.9ト、マアジが減って豆あじ主体に0.8ト、ふえふきだいら類が増えて大主体に0.6ト、マダイが減って0.1ト、メイチダイが0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って中主体に4ト、えそ類が大きく減って0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、キハダが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って0.3ト、キダイが減って大主体に0.3ト、アカムツが大きく増えて0.3ト、あまだい類が0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が減って0.9ト、マアジが増えて豆あじ主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	73	シラス	66,825	915		→
	延縄	41	ハモ	3,629	89	中主体	↘
		17	サワラ	292	17		↗↗
		35	あまだい類	226	6		→
		9	えそ類	103	11		↗
	小型定置網	11	ブリ	2,052	187	つばす級主体	↗↗
		18	マルアジ	941	52	小主体	↗↗
		18	マアジ	843	47	豆あじ主体	↘
		14	ふえふきだいら類	615	44	大主体	↗
		17	マダイ	110	6		↘
		15	メイチダイ	106	7		→
	底びき網	21	ハモ	3,957	188	中主体	↘↘
		20	えそ類	435	22		↘↘
	海部沿岸	釣り	4	キハダ	460	115	
延縄		4	ハモ	299	75		↘
		9	キダイ	280	31	大主体	↘
		18	アカムツ	264	15		↗↗
		15	あまだい類	193	13		→
小型定置網		10	かます類	875	87		↘
		3	マアジ	452	151	豆あじ主体	↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘